

がん予防のススメ Vol.93

がんロコモにならないために



徳島大学大学院 医歯薬学研究所
脊椎関節機能再建外科学分野
(整形外科) 特任准教授
にししゅう としひこ
西庄 俊彦氏

私は骨や筋肉と
いった運動器に発生

する腫瘍を専門に診療しています。近年、がん治療の進歩により「がんロコモ」という問題が生じています。これは、がん自身やその治療によつて運動機能が低下することです。「1. 肉腫や骨転移など、骨や筋肉の腫瘍自身による問題」「2. 抗がん剤のしびれなど治療の副作用による問題」「3. がん治療に集中するあまり既存の膝痛や腰痛が放置される問題」の3つに分類されます。予防としてはがん検診で骨転移になる前にかんを見つけること、がんになる前に普段から運動と栄養管理を行うことが重要です。詳しくは一度「がんロコモ」で検索してみてください。がん治療とともに「動ける」生活を目指しましょう。



徳島大学病院 がん相談支援センター

がんの相談はこちらへ 相談窓口 Tel.088-633-9438

がん診療連携センター

<https://www.tokudai-ganrenkei.jp>



徳島がん対策センター

<https://www.toku-gantaisaku.jp>